

研究に関するお知らせ

(大弯にかかる上部進行胃癌に対する
NO.10 リンパ節予防的郭清のための
脾臓合併切除の意義を検証する後向き観察研究)

西暦 2020 年 10 月 19 日

横浜医療センター外科では、下記の研究を行います。この研究は条件を満たす患者さん全員を対象といたします。もし、この研究への参加を希望されない場合には、対象とはいたしませんので、お問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。

■研究の対象となる方

1992 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日までに当院外科で胃癌の手術を受けた患者さん。

■ご協力頂く内容

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則り、個人情報 は 厳重に保護した状態で行います。

■研究の概要

研究の目的及び意義

大弯にかかる進行胃癌と診断され、臨床的に脾門部リンパ節の転移がない患者さんに対する予防的な脾臓摘出術の意義を検証します。

研究の期間

倫理審査委員会承認日～2023 年 12 月 31 日

研究の方法

診療録情報より、必要な採血・画像・病理検査結果や年齢、性別、体重などの身体情報及び術後の合併症の発生や生存期間などの観察項目を抽出し、統計解析を行います。新規または追加の検査は行いません。

個人情報等の取り扱い

電子カルテシステムから抽出されたデータに、電子カルテを直接閲覧して得られた追加データを入力したのち、連結可能匿名化して解析を行います。

利益相反に関する状況

開示すべき利益相反は特にありません。

研究に関する情報公開の方法

医学に関する学会等にて発表し、最終的に学術論文化いたします。その際、データは個人が特定されない方法・内容に限るものとします。

■研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

本研究は既存の診療録情報を利用した後方視的疫学研究であり、対象者への文書や口頭によるインフォームドコンセント取得は困難であるため、相談に対しては個別に対応します。お問い合わせ先までご連絡ください。

■研究代表者および研究分担者

研究代表者 横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器病センター外科
佐藤 渉

研究分担者

横浜市立大学大学院 医学研究科 消化器・腫瘍外科学	小坂 隆司
藤沢市民病院 外科	牧野 洋知
横須賀共済病院 外科	小野 秀高
国立病院機構 横浜医療センター 外科	木村 準
横浜市立みなと赤十字病院 外科	佐藤 圭
横浜市立市民病院 外科	田中 優作

■お問い合わせ先

国立病院機構 横浜医療センター

外科 木村 準

〒245-8575 横浜市戸塚区原宿 3-60-2

TEL045(851)2621 (代表) fax045(851)3902

平日 8時30分～17時15分